

米空軍グローバルホークの横田飛行場への一時展開について（要請）

昨日、防衛省北関東防衛局より、令和2年5月30日頃から同年10月頃まで、グアム島のアンダーセン米空軍基地を拠点に運用している高高度滞空型無人偵察機グローバルホーク6機が横田飛行場に一時展開される、との情報が東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

本件は、現下の安全保障環境を踏まえると、この地域におけるISR（情報収集、警戒監視、偵察）活動のニーズは引き続き高く、グローバルホークの効果的な運用を最大限確保する観点で検討した結果、行われるとのことですが、昨年に引き続き横田飛行場において一時展開されるものであり、今後の運用が懸念されます。

については、貴職におかれましては、下記の項目について要請します。

記

- 1 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。
- 2 今回の一時展開に伴い周辺住民に影響を与える事項及び同機に関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。

令和2年5月26日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	福生市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之